

# ロボットの音声コミュニケーション技術 -言葉や能力の壁を越えるデータ指向知能に向けて-

杉浦 孔明<sup>1,a)</sup>

概要：コンピュータが発明されて間もない1950年頃から、世界中の言語を扱える音声翻訳機や、会話ができるロボットは夢のシステムであった。今日、音声認識・合成技術の性能は大きく進歩したものの、限定的なタスク以外は人間の能力を超えておらず、認知・表現能力の高度化に向けた研究開発が強く求められている。本講演では、ロボットの音声コミュニケーション技術のための課題を概説し、音声・画像・動作・コンテキスト情報などを統合したマルチモーダル言語処理の技術動向と、家庭や病院などで人を支援するロボットへの展開について我々が行ってきた取り組みを紹介する。

## Data-Driven Approaches in Human-Robot Communications

SUGIURA KOMEI<sup>1,a)</sup>

---

<sup>1</sup> 国立研究開発法人 情報通信研究機構  
NICT, 3-5 Hikaridai, Seika, Soraku, Kyoto 619-0289, Japan  
<sup>a)</sup> komei.sugiura@nict.go.jp